令和７年度版

甲府市環境教育プログラム

（ 令和７年１０月１日現在 ）

甲　府　市

はじめに

近年、世界各地で地球温暖化が要因とされる猛暑や豪雨などの異常気象が多発しているほか、生物多様性の喪失、プラスチックによる海洋汚染など、環境問題が深刻化しております。美しい自然を後世に引き継ぎ、健康で安全かつ快適な生活のための良好な環境を確保するため、本市では環境問題を市政の重要な課題として位置付け、市民や事業者と連携・協力のもと、環境保全事業に取り組んでいます。

こうした中、本市では、令和５年３月に SDGs の基本理念や考え方を積極的に取り入れた『第三次甲府市環境基本計画』を策定しました。同計画の目指すべき環境像である「人と自然が調和するまち甲府 ～循環共生型社会の実現～」に向け、基本目標５「地域の未来のために協働するまち」の取組の一環として、この度、『甲府市環境教育プログラム』を改訂いたしました。

本プログラムは、事業者や団体等の協働実施者とともに、市民の皆様が気軽に参加し取り組むことができ、環境問題に対し理解を深めていただけるものとなっています。

市民の皆様には、興味・関心を持たれたプログラムへ参加していただくことで、身近な環境保全から持続可能な社会の構築に繋がっていくことを期待しています。

申し込み方法と実施のながれ

① 申請者（団体等）は、希望するプログラムを選択し、『甲府市環境教育プログラム参加申請書』（54 ページ）に必要事項を記入して、ごみ減量課に提出してください。

※申請書はコピー、または甲府市ホームページよりダウンロードしてください。
【甲府市ＨＰ】ホーム>まち・環境 > 環境 > 環境施策 > 甲府市環境教育プログラム > 参加申請書
（https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kankyohozen/program.html）
※開催希望日の１か月前までに申請してください。
（プログラムによっては、１ヶ月以上前の申請が必要なものがあります。各プログラムのページをご参照ください。）
（開催希望日によっては、ご希望に沿えない場合があります。）
※プログラムの内容により、総務課・環境政策課・ごみ減量課・ごみ収集課・環境保全課のいずれかがプログラム担当課（以下「担当課」という。）となります。
申請内容に不明点がある場合は、担当課よりご連絡させていただくことがあります。

② 担当課は、申請書に基づきプログラムを実施する協働実施者に連絡し、日程及び内容についての打ち合わせを行うよう協議・調整を行います。

③ ごみ減量課より、協働実施者へ「プログラム開催依頼文」を、申請者（団体等）へ「プログラム開催決定通知」を通知します。

④ 協働実施者は、申請者（団体等）の担当者と連絡を取り、打ち合わせを行います。
※連絡は、通知から１週間ぐらいを目安としてください。

⑤ 申請者（団体等）と協働実施者とで、プログラムを実施します。
※実施する際の会場等の施設借上料（備品等の使用料を含む）は、主催者となる申請者（団体等）の負担となりますので、ご了承ください。

⑥ プログラム実施後、申請者（団体等）はアンケートを、協働実施者は実施報告書を、担当課に提出してください。
※アンケート用紙は、プログラム開催決定通知に同封します。別途、協働実施者からのアンケート等がありましたら、ご協力ください。
※実施報告書は、プログラム開催依頼文に同封します。

【問い合わせ・申し込み先】
甲府市　環境部　環境総室　ごみ減量課
〒400-0831　甲府市上町 601-4
Tel：055-241-4327　　Fax：055-241-6190
E-mail：gomigen@city.kofu.lg.jp

【 目 次 】

プログラム一覧 - - - - - - - - - - - - - - 1～2

プログラムの紹介 - - - - - - - - - - - - 3～52

協働実施者の紹介 - - - - - - - - - - - 53～54

協働実施者の募集 - - - - - - - - - - - - - - 55

甲府市環境教育プログラム参加申請書 - - - - - - - - - - - - - - 56

プログラム一覧

番号	タ　イ　ト　ル	対象	区分	ページ
1	サントリー水育「出張授業」	小学４～５年生	学習	3
2	山と海は繋がっている。 だからこそ知って欲しい物語『イルカのＫちゃん』	未就学児～ 高校生	体験 学習	5
3	河川清掃体験教室	中学生・高校生	体験	7
4	緑のカーテンづくりセミナー	市民全般	体験 学習	9
5	未来のぼくらの町をどうしたいか！？ 開発による汚染を減らすにはどうする？	小学４年生以上	体験 学習	11
6	再生可能エネルギー体験教室	小学４～６年生	体験 学習 講演	13
7	水素・燃料電池教室	小学４年生以上	体験 学習	15
8	環境配慮型庁舎の見学会	市民全般	体験 学習	17
9	サントリーペットボトルリサイクル啓発授業	小学４年生以上 推奨	学習	19
10	セブン‐イレブンとめざす未来 ～地域や社会と共に～	小学５～６年生	学習	21
11	環境にやさしいＥＭ家庭菜園講座	未就学児～大人	体験 学習	23
12	ごみへらし隊による出前講座	市民全般	体験 講演	25
13	環境教育講座　エコ工作①～④	市民全般	体験	27
14	出前講座「地球温暖化について」	未就学児～大人	体験 学習	29
15	サントリー森と水の環境セミナー	中学２年生	学習	31
16	ペープサート（紙人形劇）による環境教室	未就学児	体験	33
17	意外にいるぞ甲府の生きものたち！！ 水辺にも、こんな所にも！？	未就学児 ～高校生	体験 学習	35
18	出前講座「甲府市の森林」	小学５年生	体験 学習	37

番号	タ　イ　ト　ル	対象	区分	ページ
19	学校林活動事業	年中・年長 小５・中１	体験	39
20	地球温暖化対策セミナー	市民全般	講演	41
21	劇団さくらっ子「パフォーマンス・パソコン紙芝居」	未就学児～大人	体験	43
22	エネルギーの創・蓄・省と工作教室 ～次世代エネルギーキット作り～	小４年生以上 （保護者同伴）	体験 学習	45
23	ＡＧＦと学ぼう！ サステナブルな社会の実現を目指して	市民全般 （小学校～大学等教育機関を想定）	体験 講演	47

自然環境とふれあうアクティビティ

番号	タ　イ　ト　ル	対象	区分	ページ
24	里山体験スクール　（※実施場所は、大月市内）	未就学児～大人 (障がい者向けも有)	体験 学習	49
25	森林ボランティア	小学生以上	体験 学習	51

学習

サントリー水育「出張授業」

ねらい

水は自然の中で育まれる。地球の水循環を理解し、私たち一人ひとりが水循環の中で生活していることを認識し、未来に水を引きつぐことの大切さや必要性を共に考える。

概　要

先生が授業を行う授業１と水育講師が行う授業２、ＩＣＴ機器を活用したホームワークアクティビティの３部構成。

授業１では水循環と私たちの生活が水循環に影響を与えることを学び、授業２では水は森で育まれること、水を育む森を守るためには人々の工夫や努力が必要であることを水の実験や映像教材を通じて学ぶ。

ホームワークアクティビティでは、クイズを通じて水についての学びを深めていく。

場　所	小学校	時　期 （季節）	５月下旬～３月中旬 （小学校の長期休暇期間を除く）
対　象	小学４～５年生	人　数	クラスごとに実施 人数不問

プログラム No.1

タイムスケジュール

所要時間　９０分

担任の先生による授業１と水育講師による授業２の２コマで行います。
担任の先生による授業は講師による授業の１週間前を目安にご実施下さい。
４５分×２コマで行います。

授業２　水育講師による授業のタイムスケジュール

０分～　７分	めあての確認	（導入）
７分～２４分	水実験	（展開１）
２４分～３５分	映像視聴	（展開２）
３５分～４５分	授業の振り返り	（まとめ）

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

授業１、授業２ともに使用する教材は実施団体より送付いたします。

その他（特記事項）

- 水実験キットの準備・片づけのため、理科室等の特別教室での確保をお願いいたします。
- お申込みは、最短でも実施の２か月前までにお願いいたします。
- 市にお申込みいただいた後、サントリー申込サイトでのお申込みが必要になります。
（ＵＲＬはお知らせします。）

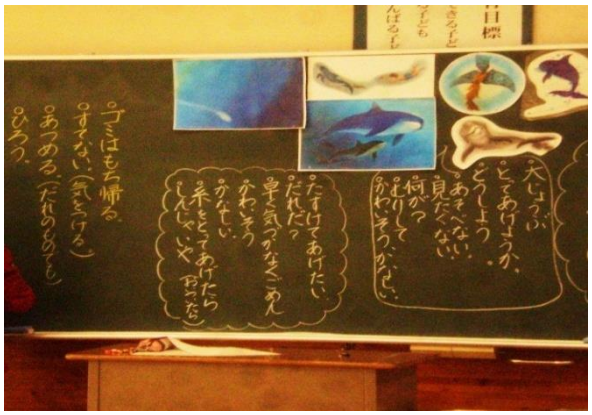
※申込サイトでは児童数が 25 名以下の場合は入力ができないため、
25 名に満たない学校で実施の場合は、人数入力時に 25 名と一旦ご入力ください。

実施団体

サントリーパブリシティサービス株式会社　水育グループ
Tel：050-1734-9842
E-mail：suntory.mizuiku@sps.sgn.ng.jp

体験 ・ 学習

山と海は繋がっている。だからこそ知って欲しい物語『イルカのＫちゃん』



ねらい

海洋汚染の現状を知り、内陸県である山梨県及び甲府市内の水辺も海に繋がっている事に気付き、それぞれのライフスタイルについて考え、「地球で生きているのは人間だけではない」という事実を実感し、生物の多様性や自然環境を保全していく重要性に気付き、行動できるようになることを目的とする。

概　要

人間の生活が豊かになる一方で、命の源である海の環境は悪化の一途を辿っている。しかし、内陸県である山梨に暮らす子供達は海洋汚染の現状をイメージする機会が少ないため、山と海とが繋がっている事にも気付きにくい。

このプログラムでは、伊豆諸島御蔵島周辺でＫちゃんと名付けられた野生の子イルカに起こった悲劇―ゴミが絡まって命を亡くす（実話）を題材にした絵本『イルカのＫちゃん』の読み聞かせや、DVD の鑑賞、ゴミ絡まりの疑似体験等を教材として『講演』というスタイルで伝えていく。

場　所	学校の教室その他	時　期（季節）	通年
対　象	未就学児～高校生	人　数	クラス・学年単位

プログラム No.2

タイムスケジュール

所要時間　４５分

学校では授業時間に合わせます。（小学校４５分授業の場合）

０分～　３分	講師自己紹介
３分～１０分	イルカの映像を見る（イルカの生態など）
１０分～２０分	『イルカのＫちゃん』の読み聞かせ
２０分～３５分	Ｋちゃんの命を奪った物 → 気付きや自分に出来る事の考察
３５分～４５分	まとめ・ふりかえり

※上記は、あくまで一例です。２時限連続や、正味１時間など、主催者（申請者）のご都合に合せて実施できます。ただしこれ以上の短縮は気付きが浅くなるので難しいです
絵本・DVD・絡まりの疑似体験などは任意で選んでいただくことも可能です。
また、組み合わせていただくことも可能です。

参加者負担費用

要相談

持ち物　・準備品

- 参加者　筆記具程度
- 主催者（申請者）　机と椅子、プロジェクター（DVD プレイヤー）、マイク（会場が広い場合）※パソコン、絵本、DVD は実施団体で持参可能です。

その他（特記事項）

- タイムスケジュールは、要望・都合に合わせて調整可能です。
- パワーポイントを使うので、プロジェクターが必要です。
- 実際のイルカや、Ｋちゃんの映像もあるので、DVD を使えると更に効果が見込めます。その際、投影できるテレビや、スクリーンがあると良いです。
- 当プログラムを運営するにあたり、絵本の著者、及び監修者の了解を得ています。

実施団体

ＨＯＯＫ（フック）かんきょう『協育』事務所
代表者氏名　野澤　健夫（のざわ　たけお）
申込受付　E-mail：hook.kyoiku@mx5.nns.ne.jp
代表携帯　090-2214－5938　※E-mail が有り難いです

甲府市　環境部　環境総室　環境政策課
Tel：055-241-4363　Fax：055-241-6190
E-mail：kanseisaku@city.kofu.lg.jp

体　験

河川清掃体験教室

ねらい

河川清掃の体験を通して、河川の汚濁状況の確認と河川美化への認識を深める。つまり、人と自然の共生できる社会実現に向けての考察を促すとともに、ボランティア活動を通して社会奉仕の精神を涵養する情操教育の一環とする。

概　要

荒川とその支流を対象にした河川清掃を行う。実際に河川に入ってのゴミ収集や河川敷での雑草駆除や花壇清掃を体験する。また、清掃活動の準備や後片付けなども経験し、ボランティア活動の実態と労力を実感してもらう。さらに、収集したゴミや粗大ゴミの分析などから河川美化、投棄防止の方策を考察し、最終的には人と自然の共生する社会を目指す心構えを構築する。

場　所	市内の荒川及び支流	時　期（季節）	毎月第１日曜日（１月を除く）
対　象	中学生・高校生	人　数	毎月５０人程度

プログラム No.3

タイムスケジュール

所要時間　２時間

午前６時 50 分　　集合　開会式
・清掃範囲や班編成、危険防止など注意事項の確認

～ 約１時間半河川清掃を実施（班長の指示による）～

午前８時 30 分ごろ　後片付け　朝食　閉会式
・清掃の感想や活動への意見等を随時発表

午前９時ごろ　　解散
・有志は、別所の胴長靴の洗浄や機器の整理などに参加

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

軍手、長靴、タオル、着替えや防寒着（必要に応じて）

その他（特記事項）

清掃活動終了後の爽やかで心が洗われるような充足感を味わっていただきたいと思います。
※一般の方についても参加募集しています。
※当法人では、コンセプトに賛同し、活動にご協力いただける個人及び団体の会員を随時募集しています。詳しくは事務局へお問い合わせいただくか、ホームページ（http://www.mirainoarakawa.com/bosyu.html）をご確認ください。

実施団体

認定 NPO 法人　未来の荒川をつくる会　河川清掃隊　隊長　河野　芳樹
Tel：080-5468-1105

体験 ・ 学習

緑のカーテンづくりセミナー

ねらい

緑のカーテンは、ゴーヤやアサガオなど、つる性の植物で作る自然のカーテンである。

窓の外に緑のカーテンを作り直射日光を防ぐことで室内温度の上昇を抑制し、壁やベランダを日陰にすることで放射熱の発生と侵入を抑制する効果などがあり、エアコンの消費電力を抑えるという省エネにも繋がる。また、葉から水分が蒸発する蒸散作用で発生する気化熱により、周囲の温度の上昇を抑制する効果もある。家庭や職場で手軽にできる地球温暖化対策の一つとして、緑のカーテンの普及を推進する。

概　要

市民・事業者・団体及び行政が協働し、地域の実情に即した温暖化対策を推進することを目的に設立した甲府市地球温暖化対策地域協議会（甲府市温対協）が主催するセミナー。地球温暖化対策や緑のカーテンに適した植物の紹介及び育て方などを学び、参加者にはゴーヤの苗を無料配布する。

場　所	市内各所	時　期（季節）	５月上旬～中旬
対　象	市民全般	人　数	１００人程度 ※会場の規模により変動

プログラム No.4

タイムスケジュール

所要時間　60 分

０分～　５分	開会あいさつ
５分～４５分	講演
４５分～５５分	質疑応答
５５分～６０分	閉会あいさつ（閉会後、ゴーヤ苗配布）

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

特になし

その他（特記事項）

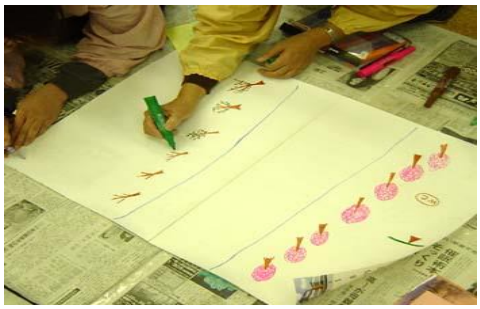
開催概要は、広報こうふ、甲府市温対協のホームページ等でお知らせします。

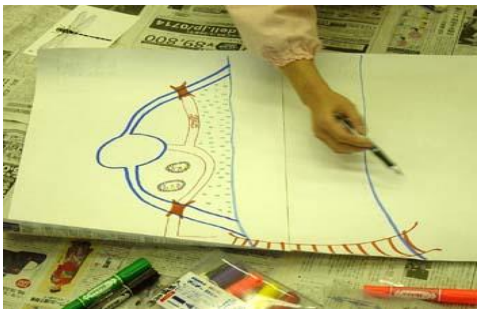
実施団体

甲府市地球温暖化対策地域協議会　事務局
（甲府市　環境部　環境総室　環境政策課　温暖化対策係）
Tel：055-241-4363　　Fax：055-241-6190
E-mail：kanseisaku@city.kofu.lg.jp

体験・学習

未来のぼくらの町をどうしたいか！？
開発による汚染を減らすにはどうする？





ねらい

開発の代償となった「汚染問題」に着目し、特に水環境の汚染を防止するために汚染源を考え、開発を有意義にするには、どうしたら良いか、何に気を付け実践するかなどを考察し、より具体的に提案したり、ディベートしたり、プレゼンできるようになることを目的とする。アクティブラーニングに最適である。

概　要

※プロジェクト WET、ならびにプロジェクトワイルド（いずれもアメリカ発の環境教育プログラム）を活用する。

開発には多かれ少なかれ、必ず「汚染」の問題が付きまとう。暮らしやすい街を創成するためにも開発は重要であるが人間の利便性ばかりを追求すると、汚染も比例して拡大してしまう。特に水環境には最大限に配慮しなければならない。また、周辺の自然環境や、棲息する生物への配慮も重要である。当プログラムでは、未来の暮らしやすく、環境にも充分に配慮された（甲府の）街づくりを推進するために『汚染源』について考え、汚染を防止するために必要な具体的な施策について、それぞれの学年に応じたレベルでディベートを行い、学校や行政にもプレゼンテーションできる能力を養う。

場　所	教室・体育館など	時　期（季節）	通年
対　象	小学４年生以上	人　数	クラス～学年単位

プログラム No.5

タイムスケジュール

所要時間

４５分

※学校では授業時間に合わせます。
（小学校の４５分授業で、『塵も積もれば』を活用した場合）

０分～　２分	講師自己紹介
２分～２０分	水辺の開発の希望図を自由に描く
２０分～３５分	希望図から、環境へのインパクトを指摘して「汚染源」について考察
３５分～４５分	まとめ・ふりかえり

以降、理想的な開発の提言を各自の宿題とすることもできます。

※上記は、あくまで一例です。２時限連続や、正味１時間など、主催者（申請者）の都合に合せて調整できます。

参加者負担費用

要相談

持ち物　・準備品

筆記用具

その他（特記事項）

- プロジェクト WET は、「水」について、また、プロジェクトワイルドは生物について、様々な角度から学べる米国生まれの環境教育プログラムで、当方はファシリテーター（上級指導者）の資格を有しております。なお、米国本部とのライセンス契約により、エデュケーター（一般指導者）以上の有資格者のみ指導可能なプログラムです。
- 数ある、プロジェクト WET・ワイルドのアクティビティの中から、要望に応じて対応可能なアクティビティを選んで活用致します。

例１：『未来の荒川流域の開発を考えよう（仮題）』
（WET『塵も積もれば』を活用）

例２：『ずっと未来に残したい甲府の風景を守ろう（仮題）』
（WET『ハンプティーダンプティー』ワイルド『みんなのトンボ池』などを活用）

- 指導時間の調整も可能なので、希望する内容や、詳細はお問い合わせください。

実施団体

ＨＯＯＫ（フック）かんきょう『協育』事務所
代表者氏名　野澤　健夫（のざわ　たけお）
申込受付　E-mail：hook.kyoiku@mx5.nns.ne.jp
代表携帯　090-2214－5938　※E-mail が有り難いです。

体験 ・ 学習
講演

再生可能エネルギー体験教室

ねらい

SDGｓの中の地球温暖化について学ぶとともに、太陽光、風力、木質バイオマス、水素、人力など、身近にある再生可能エネルギーについて体験することにより、子どもたちに興味を持ってもらう。

概　要

【前半】
画像やパネルを用いての地球温暖化についての解説
【後半】
全体を３グループに分け
① ソーラークッカー（太陽熱調理器）
② 太陽光発電、風力発電、手回し発電、温度差発電等で動くツール
③ 甲府市による水素エネルギーの体験
計３種類の体験をローテーションで全員が行う

場　所	屋内、屋外	時　期（季節）	年間を通じて（６月～２月）
対　象	小学４～６年生	人　数	学年単位

プログラム No.6

タイムスケジュール

所要時間　６０分

０分　～　５分	あいさつ、講師紹介
５分　～　２０分	地球温暖化についてのお話（図解解説）
２０分　～　４５分	再生可能エネルギー体験教室 ・ソーラークッカーでの調理実演 ・再生可能エネルギーで動く機器体験 ・水素エネルギーの体験
４５分　～　５５分	質疑応答
５５分　～　６０分	あいさつ

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

屋内：マイク、パソコン、プロジェクター、スクリーン、パソコンを置く机など
屋外：長机５台（屋外体験学習時に使用）

その他（特記事項）

- 食材、体験機材は、実施団体で用意します。
- 日向での実習となりますので、夏場は、帽子・水筒など、暑さ対策をお願いします。（冬期でも実習は可能です。）
- 雨天の場合、室内で別メニューを行います、雨天時の実施場所の確保をお願いします。
- 感染症対策などで直接出向けない場合は、体験風景動画視聴や温暖化解説図・資料の提供などの対応ができます。ご相談ください。

※一般の方についても、実施できます。
一般の場合は、一部体験メニューが実施できない場合があります。

実施団体

ＮＰＯ法人みどりの学校
Tel：090-9373-2345　Fax：055-243-2348
E-mail：ashizkimi@ybb.ne.jp

甲府市　環境部　環境総室　環境政策課
Tel：055-241-4363　Fax：055-241-6190
E-mail：kanseisaku@city.kofu.lg.jp

体験・学習

水素・燃料電池教室

ねらい

世界的に地球温暖化や気候変動の問題が顕在化している中、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けての取り組みが国策として打ち出され、環境にやさしい次世代エネルギーとして「水素」が切り札とされている。

山梨県では、再生可能エネルギー由来の水素製造の事業化を進められており、また、「水素・燃料電池」に関する研究開発拠点が集積しているという恵まれた環境にある。こうした背景と世界トップクラスの燃料電池の研究を 50 年ほど前から進めてきていることもあり、山梨大学として次世代を担う子どもたちに「水素・燃料電池」を分かりやすく、そして正しく学ぶ機会を提供しようと出張授業を企画する。

概　要

グループ単位で簡単な実験やクイズ・動画を交えてすすめる。

☆今なぜ水素なの？
- 地球温暖化、エネルギー問題を考えよう！
- 水素の特性を知ろう
- 水素を身近な道具を使って作ってみよう！

☆燃料電池ってな～に？
- 水の電気分解で発生した水素で燃料電池を発電してみよう！！
- 実際に燃料電池を組み立ててみよう

（対象は中学生以上および時間設定にもよります。）

☆水素をエネルギーとしてどんなものが動かせたらいいなを考えてみよう！

場　所	教室・理科室・体育館など	時　期（季節）	通年
対　象	小学校４年生以上	人　数	100 名前後まで

プログラム No.7

タイムスケジュール

所要時間　６０分～９０分

所要時間は 1 時間～2 時間の中で希望に沿います。
学校の要望やねらい、学年、時間を加味して内容決めています。

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

PowerPoint、動画を使用します。PC とつなぐ映像機器、配線のご準備と会場が広い場合はマイクのご準備をお願いします。

その他（特記事項）

- グループで座れる会場をお願いします。（実験道具の関係で最大 12 グループまで）
- 他の学校が決まっている日程ではお受けできないので、予備日もご検討ください。
- 実験道具の準備のため 30 分前には会場に入ります。片付けは時間が可能であれば生徒にも手伝って頂きたいです。

実施団体

国立大学法人　山梨大学
水素・燃料電池技術ナノ材料研究センター
研究推進・社会連携機構　水素・燃料電池技術支援室

Tel：055-254-7098
E-mail：hfc-info@yamanashi.ac.jp

体験 ・ 学習

環境配慮型庁舎の見学会

ねらい

自然エネルギーの活用、省エネと快適性などを学ぶ。

概　要

環境配慮型庁舎として平成 25 年に建設された甲府市本庁舎を見学し、建物ができる環境の保全について学ぶ。

＜省エネ手法＞

・太陽光発電パネルの採用（３００ｋｗの発電が可能）
・地中熱利用、自然換気システム、雨水利用、自然採光 自然通風、緑化（屋上緑化、敷地内緑化 30%） 照明人感センサー、low-E ペアガラスの採用、クールウォームピット等

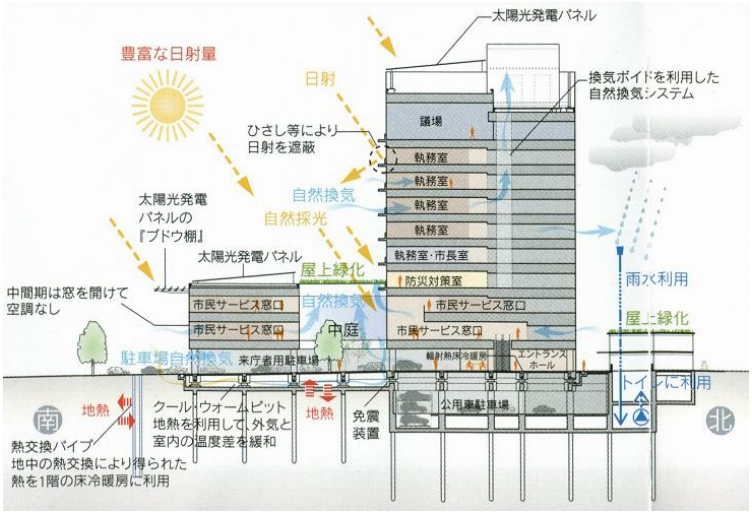
場　所	甲府市役所本庁舎	時　期（季節）	通年（土日、祝日、年末年始を除く）
対　象	市民全般	人　数	１団体　５～２０人

プログラム No.8

タイムスケジュール

所要時間　２０分

＜見学ルート＞
最上階から太陽光発電システム
↓
屋上緑化
↓
換気ボイド（自然換気システム）
↓
自然彩光
↓
low-E ペアガラス



参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

特になし

その他（特記事項）

社会情勢等により、見学内容や受入れ人数、受入れ時期等の変更をお願いする場合、受入れを停止する場合があります。

実施団体

甲府市　総務部　契約管財室　管財課　庁舎車両係
Tel：055-237-5197　　Fax：055-235-1048

学習

サントリー
ペットボトルリサイクル啓発授業

ねらい

暮らしの身近な容器であるペットボトルのリサイクルをテーマに、資源循環の仕組みや資源の大切さを学び、日常における行動変容を促す。

概　要

４５分１コマの授業。
実際のリサイクル工場の映像やリサイクル家庭の途中で出来る実際の資材に触れることで、ペットボトルリサイクルの大切さと分別回収方法を学ぶ。

場　所	小学校	時　期 （季節）	５月下旬～３月中旬 （小学校の長期休暇期間を除く）
対　象	小学４年生以上推奨	人　数	クラスごとに実施 人数不問

プログラム No.9

タイムスケジュール

所要時間 ４５分

０分～　５分	導入
５分～１０分	なぜリサイクルが大切なの？
１０分～２０分	リサイクルペットができるまで
２０分～３５分	分別方法
３５分～４５分	まとめ

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

使用する教材は実施団体より送付いたします。

その他（特記事項）

- お申し込みは２か月前に下記事務局あてにメールでご連絡頂き、その後授業の実施について調整させて頂きます。
- 音の出るモニターのご準備をお願いいたします。
- 事前準備のため、特別教室の手配をお願いいたします。

実施団体

サントリーパブリシティサービス株式会社
リサイクル啓発授業事務局
Tel：050-1734-9842
E-mail：btob.shinsei@sps.sgn.ng.jp

学習

セブン・イレブンとめざす未来
～地域や社会と共に～

ねらい

この授業を通じて、食品ロス削減、　海洋プラスチック削減、環境問題などの社会的課題を認識し、SDGs 教育を学ぶ。

概　要

セブンイレブンの簡単なクイズを通じて、弊社への興味関心と、環境問題や社会課題等、認識しながら、次世代が、それを解決するための可能な行動を、地域の方々に広めてもらう。

場　所	小学校（教室・体育館・講堂）	時　期（季節）	通年平日(繁忙期除く)
対　象	小学５・６年生	人　数	クラスごとに実施（学年ごとでも可）

プログラム No.10

タイムスケジュール

所要時間　９０分

前半 45 分
・セブン-イレブンの紹介
・クイズで学ぼう！
・商品のこだわり
・食品ロスを減らす取り組み　スムージー動画
後半 45 分
・持続可能な社会に向けて（SDGｓの取り組み）　ペットボトル回収動画
・まとめ
・質問コーナー　アンケート記入

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

・筆記用具
・投影用プロジェクター、スクリーン、机（講師台）、マイク、延長コード、HDMI コード類、指示棒（ポインタ）

その他（特記事項）

お申し込みは、最短でも実施の２か月前までにお願いいたします。開始前に、学校との打合せや会場等の確認をさせていただきます。

実施団体

(株)セブン-イレブン・ジャパン　山梨地区営業所
Tel：055-233-2644　Fax：055-233-7446

体験 ・ 学習

環境にやさしい ＥＭ家庭菜園講座

ねらい

・有用微生物群（ＥＭ）を活用した生ごみのリサイクルで家庭菜園を実践することで、ごみの減量と資源の有効活用を図る。
・よい微生物と出会うと、こんなに素晴らしいことが起こるのかと実感できる。

概　要

●ボカシあえつくり
・たくさんの生ごみ残渣の場合
新鮮な生ごみにＥＭボカシを混ぜ合わせ専用のボカシあえ生ごみ容器に入れ発酵を待って土に還す。
・少量の生ごみ残渣の場合
上の方法で容器を使わず直接プランターや土に還す。
●流すと汚染源になる米のとぎ汁の有効活用
・とぎ汁に砂糖とＥＭを加え（ミネラルのある塩を少量加える）発酵を待って使用する。

場　所	公民館・学校等	時　期（季節）	通年
対　象	未就学児～大人	人　数	制限なし

プログラム No.11

タイムスケジュール

所要時間　1 時間 30 分

＜一般の場合＞
０分～４０分　自己紹介・ＥＭの説明
（地球温暖化をはじめ様々な環境問題を改善していけるお話）
４０分～８０分　ボカシつくり（米のとぎ汁発酵液の作り方・使い方）
８０分～９０分　片付け
＜学校等の場合＞
【４５分授業内で２回実施】　※学校等の方針に従います。
※１回目と２回目は実践内容で変更します。
０分～２０分　自己紹介・ＥＭの説明
２０分～４５分　実践・片付け

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

家庭より、ペットボトル等に、米のとぎ汁２ℓ、砂糖 40ｇを入れて持参してください。
↓目安です。

その他（特記事項）

詳細については、事前に打ち合わせをします。
また、学習会で使用する資料のほかにもいろいろな資料等がありますので、必要な方はご相談ください。（その際、少額な費用が掛かる場合があります。）

※ＥＭ生ごみ発酵肥料は、生ごみをＥＭで発酵させたものです。ＥＭが増殖して発酵が進んでいるため、土に混ぜると分解が進み、良質の栄養源になるとともに、優れた土壌改良効果があります。
（ＥＭには、乳酸菌・酵母・光合成細菌が含まれています。）

その他 EM は、EM の特徴である波動を用いて植物、樹木の樹勢回復、堀、河川の浄化、鳥獣対策、環境改善など多方面に活躍できます。
プール清掃にも役立ちますので、まずはご連絡ください。

実施団体

EM 共生ネットワーク山梨峡中支部
支部長　山村　丈夫　Tel：090-2179-0986　Fax：055-252-9528
事務局　青木　のり子　Tel/ Fax：055-233-6991
E-mail：arigato-em@mx3.nns.ne.jp

体験・講演

ごみへらし隊による出前講座

ねらい

近年、環境問題は深刻化している。かけがえのない地球の環境を守り、豊かな自然や環境を後世に引き継いでいくには、一人ひとりが環境の保全を意識し、３Ｒ＋Ｒｅｎｅｗａｂｌｅなど、身近なところから具体的に取り組んでいくことが重要である。

この出前講座を通して、ごみ減量や資源リサイクル、環境保全に対する意識啓発を図り、持続可能な循環型社会の構築を目指す。

概　要

3R（リデュース：ごみを出さない、リユース：繰り返し使う、リサイクル：再利用する）を中心にごみの分別方法や排出状況、ごみの減量化について学習する。

また、生ごみ処理器キエーロの取組についても、使用方法等について説明する。

子どもたちには子ども向け、大人には大人向けに分かりやすく説明する。

場　所	教室・公民館等	時　期（季節）	通年
対　象	市民全般	人　数	複数名より

プログラム No.12

タイムスケジュール

所要時間　３０～１２０分

０分～５分　ごみへらし隊職員紹介
５分～　　講義

※時間は３０分～１２０分程度で自由に設定できます。

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

特になし

その他（特記事項）

・会場は主催者（申請者）で用意、確保をお願いします。
・「ごみの分別」、「リサイクル」など、テーマ別の説明も対応します。

実施団体

甲府市　環境部　環境総室　ごみ減量課　ごみへらし隊
Tel：055-241-4327　　Fax：055-241-6190
E-mail：gomigen@city.kofu.lg.jp

体　験

環境教育講座　エコ工作①～④

ねらい

　ペットボトルや空きびんなどのリサイクルできるものや、保冷剤のようなリユースできるものを使用して様々な工作をすることを通じて、分け方、出し方を学んでもらうと同時に３R+Ｒｅｎｅｗａｂｌｅに目を向けてもらう。未来を担う子どもたちに、将来、当たり前のように３R+Ｒｅｎｅｗａｂｌｅを心がけてもらえるようにする。

概　要

①ペットボトルを使用した、ペン立て・貯金箱作り
（対象：年長児～小学生）
② ペットボトルとキャップを使った車作り（対象：年少児～年中児）
③ 空きびんと保冷剤を使用した芳香剤作り（対象：年中児以上）
④ 紙製容器（裏が銀色）を使用した竹とんぼ作り（対象：年長児以上）

場　所	学校施設等の体育館・教室・会議室	時　期（季節）	通年
対　象	市民全般	人　数	複数人より

プログラム No.13

タイムスケジュール

所要時間　３０～１２０分

０分～　５分　　ごみへらし隊職員　自己紹介・あいさつ
５分～１０分　　リサイクルの方法などの説明
１０分～　　作業時間　①は６０～９０分ほど
②は３０分ほど
③は２０～４０分ほど
④は３０～４０分ほど

※終了予定１０分前に片付けをし、５分前には事後説明をして時間通りに終了を目指します。
※内容については対象者の年齢層、作業時間などについて事前に適宜打ち合わせ行います。

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

- 長机（参加者が座れる数）
- 持ち物は講座によって様々です。詳しくはごみ減量課にお問合せください。
- 完成した作品は持ち帰ってもらうことができます。

その他（特記事項）

工作だけでなく、リサイクルの方法などの説明も行い、参加者からの疑問点にも回答する時間を確保しています。こうした活動は年間を通して、幼稚園・保育所、小学校、放課後児童クラブ、女性団体などで行っています。時間設定は、小学校の１コマ（４５分）から２コマ（９０分）ほど。主催者（申請者）の要望により、時間調整は可能です。基本的にごみへらし隊の活動は、隊員の都合のつく限り、土・日・祝・夜間を問わず行っています。

実施団体

甲府市　環境部　環境総室　ごみ減量課　ごみへらし隊
Tel：055-241-4327　　Fax：055-241-6190
E-mail：gomigen@city.kofu.lg.jp

体験 ・ 学習

出前講座「地球温暖化について」

ねらい

脱炭素社会の実現に向けては、持続可能な社会の創り手となることが期待されている子どもや地域の大人の意識醸成・行動変容が不可欠となる。各年代に応じた環境教育を実施することで、地球環境問題について理解を深め、「自らできることを考え、行動する」力を身に付けてもらうことを目的として実施する。

概　要

地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題など、世界中で起こっている環境問題の現状と対策について学習する。

例）未就学児：地球温暖化や環境問題について、分かり易く説明し、環境を大切にする気持ちを持ってもらうことを目的に実施する。

大人：地球温暖化や環境問題について説明をするなかで、解決するために、自分達はどういった対策や取組ができるのか等について学習する。

場　所	市内の各施設（室内）	時　期（季節）	通年
対　象	未就学児～大人	人　数	制限なし

プログラム No.14

タイムスケジュール

所要時間　３０分～５０分

０分	～ ２分	あいさつ（職員紹介）
２分	～ ３２分	地球温暖化を始めとする環境問題などについて学習
３２分	～ ５０分	質疑応答

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

特になし

その他（特記事項）

学習内容・時間については、ご相談のうえ、調整させていただきます。お気軽にお申込みください。

実施団体

甲府市　環境部　環境総室　環境政策課
Tel：055-241-4363　　Fax：055-241-6190（共通）
E-mail：kanseisaku@city.kofu.lg.jp

体験 ・ 学習

サントリー森と水の環境セミナー

ねらい

中学校２年生を対象に、学校で出前講義をさせていただき、対話を通じて未来に水をひきつぐために自分たちで何ができるかを考える。

概　要

サントリー天然水南アルプス白州工場の講師による出張講義。

テーマ：社会を潤す「水」を未来へつなぐために！

①水の循環と水リスクについて

②水を育む環境づくりについて

場　所	教室など	時　期（季節）	要相談
対　象	中学生２年生	人　数	３０～４０名

プログラム No.15

タイムスケジュール

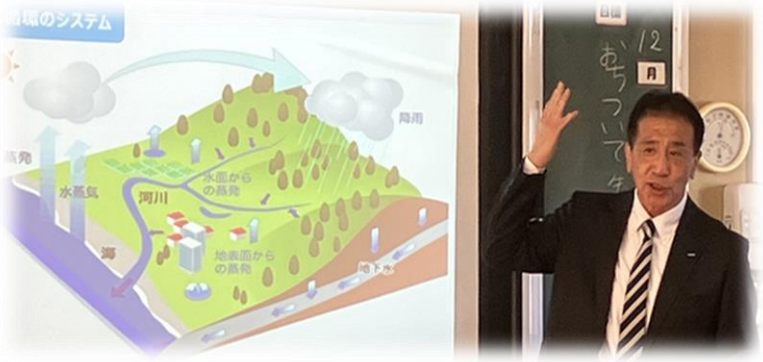
所要時間

45 分程度
(45～60 分でご要望に応じます)

０～４０分　：セミナー
４０～４５分　：質疑応答

参加者負担費用

無料



持ち物　・準備品

スクリーン１台・プロジェクター１台・延長コード１本

その他（特記事項）

- セミナー実施にあたり、簡単な事前課題があります。
- 学習指導要綱に準拠し、中学２年生社会科（環境に配慮した森林）及び各科横断な内容ですので、森の働きを視覚的に理解できる映像など主体的で深い学びを引き出す教材で、総合的な学習でも活用いただけます。

実施団体

サントリー天然水南アルプス白州工場総務部門
中学生向けセミナー係
Tel：0551-35-4733

体　験

ペープサート（紙人形劇）による環境教室

ねらい

幼児期は知的・感情的な面や人間関係の面でも日々急速に成長する時期であり、幼児期における教育は将来、人間としての生き方を大きく左右する重要なものであると考える。

本事業は、子ども達が人間と環境のつながりや関わり合いのバランスを認識し、日常の生活の中で、自らの「発見」や「気づき」の感性を磨いていくことをねらいとし、また、幼児期から環境に対する興味・関心を高め、環境教育の原点となる「ものの大切さ」「環境に配慮した生活習慣」を身につけることを目的とする。

概　要

甲府市と山梨県立大学の保育士を目指している学生サークル『おはなしクラブ』が協働し「地球温暖化」をテーマとした紙人形劇やクイズを行い「地球温暖化」や「環境保全」に対して関心をもってもらう。

場　所	保育所・幼稚園	時　期（季節）	９月～１２月
対　象	未就学児	人　数	１０人以上

プログラム No.16

タイムスケジュール

所要時間　３０分

０分	～	５分	はじめのあいさつ
５分	～	１０分	地球温暖化についてのお話
１０分	～	２０分	ペープサート（紙人形劇）・クイズ
２０分	～	２５分	エコ・リサイクル・節電の説明
２５分	～	３０分	おわりのあいさつ

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

長机３台、マイク２～３本

実施団体

山梨県立大学『おはなしクラブ』

甲府市　環境部　環境総室　環境政策課
Tel：055-241-4363　　Fax：055-241-6190（共通）
E-mail：kanseisaku@city.kofu.lg.jp

体験・学習

意外にいるぞ甲府の生きものたち!!
水辺にも、こんな所にも!?

ねらい

普段は見過ごしがちな何気ない水辺や空き地、校庭にも意外なほどたくさん生物が棲息している。身近な自然の中で健気に生きているさまざま生物を知り、自然体感アクティビティを中心とした遊びや簡単な採取活動・観察を通じて、生き物たちへの思い遣りの心や、大切さについて考える機会とすることを目的とする。

概　要

水辺では手網や、サデ網などによる、いわゆる『ガサガサ』という方法で、その水辺に居る様々な生き物を採取し、観察する。また、屋外では生き物の暮らしや生態などを追体験できるようなアクティビティを用いて自然への興味と知識を高めてから生き物を探してみる。ありがちな、汚染を計るパックテストや、生物指標による調査ではなく、身近な水辺や自然の中に「こんな生き物がいた―」。そんな、発見の感動に主眼を置き、何が捕れて、何処にいたかを記録・検証することで、その自然の保全や、水や生き物と触れあえる「遊び場」としての管理などについて考える機会とする。様々な外来種についても、「NG＝駆除」という短絡的な思考ではなく、それをどうするか、どう考えるかなどにスポットを当てる。ただし、特定指定外来種に指定されている生物が採捕された場合は、届け出と併せて適切に処置する。（天然記念物などもあり得る）

※参加者が未就学児、小学校低学年の場合はライフジャケット必須

場　所	開催地周辺の池や川、学校の校庭や講演なども可能	時　期（季節）	通年（水辺は５～１０月）
対　象	未就学児～高校生	人　数	数人～２０人まで

プログラム No.17

タイムスケジュール

所要時間　２時間

２時間として設定（この限りでは無い）

０分～　５分	講師自己紹介
５分～　６０分	採取活動・自然体感アクティビティ体験など
６０分～　９０分	観察・記録
９０分～１１０分	検証後再放流
１１０分～１２０分	まとめ・ふりかえり

参加者負担費用

要相談

持ち物　・準備品

- 水辺の場合は手網（投網は県内は禁止）、長靴（又は濡れてもよい靴。ただしサンダルは不可）、ライフジャケット、濡れても良い服装、採取記録用の用紙
- 自然体感の場合は帽子、バンダナ、ルーペなど

※必要な図鑑、資料等は実施団体で準備します。

その他（特記事項）

- 漁業権等の絡みで、網等での採捕活動が禁止されている水辺もあるため、確認が必要です。
- 採取した生き物は、基本的に全て再放流します。
- この活動では「食」についての活動はしません。
- 可能であれば、参加者分のライフジャケットの手配をお願いします。
- 当方は水辺での救助活動が実践できる SRT-1（スイフトウォーターレスキューレベル１）の有資格者です。
- 参加者が 20 名を超える場合は、必ず補助指導者が必要です。
- 参加団体として、子どもクラブや育成会等でも可能です。

実施団体

ＨＯＯＫ（フック）かんきょう『協育』事務所
代表者氏名　野澤　健夫（のざわ　たけお）
申込受付　E-mail：hook.kyoiku@mx5.nns.ne.jp
代表携帯　090-2214－5938　※E-mail が有り難いです。

体験・学習

出前講座「甲府市の森林」

ねらい

次世代を担う小学校の児童を対象に、木工体験を通じて、木と触れ合い木の温もりや親しみを感じることで、森林について興味関心を持つきっかけとなるようにする。

概　要

貯金箱、ペン立て作り等の木工体験

場　所	教室・公民館等	時　期（季節）	通年
対　象	小学生	人　数	クラス～学年単位

プログラム No.18

タイムスケジュール

所要時間

６０分

０分～　５分　　職員紹介
５分～５５分　　体験学習
５５分～６０分　まとめ
計　６０分

※要望により時間は調整できます。

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

特になし

その他（特記事項）

・会場は主催者（申請者）で用意、確保をお願いします。
・体験に使う物品等は実施団体（林政課）で用意します。

実施団体

甲府市　産業部　農林振興室　林政課　森林保全係
Tel：055-298-4837　　Fax：055-227-8065
E-mail：sangshinsei@city.kofu.lg.jp

体　験

学校林活動事業

ねらい

次世代を担う未就学児・生徒・児童に森林内でのふれあいと体験を通して、森の大切さや自然の大切さを認識していただき自然保護の意識高揚を図る。

概　要

- ネイチャーゲーム体験
- 間伐体験
- 植栽体験
- 学校林散策

場　所	各学校林 保育園２園 相川小・里垣小 北東中	時　期 （季節）	４～１２月
対　象	年中・年長 小学５年生 中学１年生	人　数	学年単位

プログラム No.19

タイムスケジュール

所要時間　２時間５０分

０分	～	１０分	始めの会
１０分	～	９０分	活動
９０分	～	１５０分	昼食
１５０分	～	１９０分	終わりの会
計		２時間５０分	

※ただし、活動内容や学校側のスケジュールにより午前で終わるときと午後まで実施する場合があります。

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

虫除けスプレー、蜂退治スプレー、ロープ（間伐時）
ヘルメット、ノコギリ（間伐時）

その他（特記事項）

・ノコギリ、ヘルメットは、学校に無い場合は県から貸し出しがあります。
・その他活動内容によっては、外部講師が必要な場合もあります。
・林内に入る場合は、必ずヘルメットを着用してください。

実施団体

甲府市　産業部　農林振興室　林政課　森林保全係
Tel：055-298-4837　　Fax：055-227-8065
E-mail：sangshinsei@city.kofu.lg.jp

講　演

地球温暖化対策セミナー

ねらい

地球温暖化対策の取組は、市民一人ひとりが、環境が自分たちの暮らしを支えているということに気づき、環境に配慮したライフスタイルを求めながら行動することが重要である。地球温暖化問題の動向、対策などを学ぶことで、一人ひとりが地球温暖化対策について関心を持ち意識を高め、自ら行動するようになることを目的とする。

概　要

市民・事業者・団体及び行政が協働し、地域の実情に即した温暖化対策を推進することを目的に設立した甲府市地球温暖化対策地域協議会（甲府市温対協）が主催するセミナー。

外部講師として各方面の専門家を招き、地球温暖化問題の動向や対策などについて学ぶ。

場　所	市内各所	時　期（季節）	２月～３月頃
対　象	市民全般	人　数	１００人程度 ※会場規模により変動

プログラム No.20

タイムスケジュール

所要時間　３時間程度

０分～　５分	開会あいさつ（５分）
５分～　１０分	温対協の活動紹介（５分）
１０分～　３０分	脱炭素アイデアコンテスト２０２５・地球温暖化作文コンテスト表彰式（２０分）
３０分～　６０分	脱炭素アイデアコンテスト２０２５・地球温暖化作文コンテスト受賞者による発表（３０分）
６０分～　７５分	休憩（１５分）
７５分～１４５分	講演（６０分）・質疑応答（１０分）
１４５分～１５５分	休憩（１０分）
１５５分～１９５分	意見交換会（４０分）
１９５分～２００分	閉会あいさつ（５分）

※毎年内容が変わるため、タイムスケジュールは年ごとに変わります。
なお、上記タイムスケジュールは令和６年度開催時のものとなります。
令和６年度は「脱炭素アイデアコンテスト２０２５」及び「地球温暖化作文コンテスト」を開催し、コンテストの受賞者への表彰式及び受賞者による発表を同日に行います。

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

特になし

その他（特記事項）

開催概要は、広報こうふ、甲府市温対協のホームページ等でお知らせします。

実施団体

甲府市地球温暖化対策地域協議会　事務局
（甲府市　環境部　環境総室　環境政策課　温暖化対策係）
Tel：055-241-4363　　Fax：055-241-6190
E-mail：kanseisaku@city.kofu.lg.jp

体験 ・ 学習

劇団さくらっ子
「パフォーマンス・パソコン紙芝居」

ねらい

地球温暖化防止のために、私たちが日常生活の中で出来ることは何かを考える『きっかけ』づくりの場を提供する。
劇団さくらっ子は、一人ひとりが生きやすい社会の実現を目指している。

概　要

地球温暖化について考える機会として、パソコンを使って紙芝居を上映する。
地球温暖化防止のために日常生活の中でなにが出来るのか。食べられるのに捨てられる食品、廃棄物に関してリデュース・リユース・リサイクルが地球を守るためには大切である。
大切な地球をみんなで守ろう。

☆幼児・小学生向け
【演目】
「地球を守れ アースマン」　「海がめのお話」　「未来との遭遇」

☆一般市民向け
【演目】
「もったいないをとりもどそう」　「海がめのお話　パート２」

場　所	市内の各施設（室内）	時　期（季節）	通年
対　象	未就学児～大人	人　数	（会場により）１０人～

プログラム No.21

タイムスケジュール

所要時間　６０分

０分	～　２分	主催者あいさつ
２分	～　５分	劇団さくらっ子代表あいさつ、団員紹介
５分	～　３５分	パソコン紙芝居の上演
３５分	～　５５分	質疑応答
５５分	～　６０分	まとめ　終わりのことば

参加者負担費用

無料

持ち物　・準備品

長机１台、机１台、マイク３～４本、延長コード、スクリーン、プロジェクター

その他（特記事項）

・持ち物、準備品で用意できない場合は、実施団体で持参します。
・パソコン紙芝居以外にも『パフォーマンス』も行っています。
【演目】
☆「よっちゃばれ（防災編）」
☆「さくらっ子電話詐欺の巻」　他
詳しくは、劇団さくらっ子のホームページをご覧ください。
（http://gekidansakurakko.wordpress.com/）

実施団体

甲府　劇団さくらっ子　（代表　平井　ゆみ）
Tel：055-251-0465　　携帯：090-3042-0018
E-mail：RW6M-HRI@asahi-net.or.jp

体験・学習

エネルギーの創・蓄・省と工作教室
～次世代エネルギーキット作り～

ねらい

くらしの中の電気製品の省エネや太陽光発電の仕組みについて学び、日常生活におけるエネルギーとの関わりを通じて環境意識を高める。

概　要

先に、座学によりエネルギーの創エネ・蓄エネ・省エネを学ぶ。

その後、学習キットを自作し体感することで、学習内容の理解をさらに深める。

場　所	教室・公民館など	時　期（季節）	通年
対　象	小学校４年生以上 ※保護者同伴	人　数	１０組程度

プログラム No.22

タイムスケジュール

所要時間　最大１２０分

講師による座学で学習（約３０分）
その後、学習キットの工作（６０分～９０分）

０分	～　５分	開催のあいさつ
５分	～３５分	【座学】エネルギーの創エネ・蓄エネ・省エネについて
３５分	～９５分	【工作】次世代エネルギーキット作り（最大１２０分まで）

参加者負担費用

１人　１，５００円（工作の材料費）

持ち物　・準備品

机、椅子、投影用プロジェクター、スクリーン、接続ケーブル、マイク

その他（特記事項）

時期によっては混みあいますので、早めのお申し込みをお願いいたします。
開催日によっては、ご希望に沿えない場合がございます。

実施団体

パナソニック(株)
エレクトリックワークス社　ＣＳセンター

体験・講演

ＡＧＦと学ぼう！サステナブルな社会の実現を目指して

ねらい

味の素ＡＧＦの「ココロとカラダの健康」「人と人とのつながり」「地球環境との共生」をはじめとするサステナブルな社会実現をめざす事業活動を通じて、プラスチック資源削減や地球にやさしいエコ活動を学んでいただく。

概　要

ＡＧＦグループのご紹介、ＡＧＦ製品におけるエコな取組のご紹介、及び試飲の実施を通じ、普段の身近な生活の中で一人ひとりが実践できる取組について考える。

場　所　教室・公民館等

時　期（季節）　通年

プログラム No.23

対　象
市民全般
（小学校～大学等教育機関での実施を想定）

人　数
複数名より
（20～40 名を想定）

タイムスケジュール

所要時間
５０分程度

０分　～　１０分　ＡＧＦグループのご紹介
１０分　～　２５分　ＡＧＦ製品及び製品を通じたエコな取組のご紹介
２５分　～　４０分　体験（試飲）
４０分　～　５０分　まとめ
＊ご要望の応じてお時間はカスタマイズいたします。

参加者負担費用

なし

持ち物　・準備品

なし

その他（特記事項）

実施場所は申込者がご提供ください。（学校の教室などを想定）

実施団体

味の素ＡＧＦ株式会社東京支社
Tel：03-5365-8410　Fax：03-5365-8419
E-mail：mao.ikegami.7x6@agf.co.jp

体験 ・ 学習

里山体験スクール

市外版

ねらい

大月ロハス村は平成 21 年、“自然と人間両者の持続可能な社会づくりを目指し、自然と人間の永続性を実践していく”ことを目的として、地域の森林整備や、間伐材を利用した物作りなど森林空間を利用した、環境学習、里山学習（動物の観察会、野草、薬草の観察会、自然エネルギー学校）などの体験学習イベントを実施し里山の文化を次世代に継承していくことを目的とする。

概　要

- 野草、山菜の観察会（黒文字のお茶、入浴剤等を作る。）
- 間伐体験（間伐材でスウェーデントーチを使って森ランチを作る。）

場　所	ろはすの森（大月市）	時　期（季節）	４月～１２月
対　象	未就学児～大人 ※障がい者向けメニューも有	人　数	５～１５名

プログラム No.24

タイムスケジュール

所要時間　４時間

０分～　１０分	ろはすの森入口集合（オリエンテーション）
１０分～　６０分	４０～50分のガイドウォーク、トレッキングをしながら野草摘み観察会
６０分～　９０分	お茶、入浴剤を作る
９０分～１５０分	スウェーデントーチを使って森ランチ（スープカレー、シチューなど季節によってメニューが変わります。） ※ご飯又はパンを持参してください。
１５０分～１８０分	昼食
１８０分～２４０分	間伐体験、間伐材で鍋敷き、コースターを作る

※お弁当持参の場合は参加費から大人 800 円、子供 500 円を差し引いてください。
※プログラム内容は希望に応じて変更可能です。
※オプションで森林ヨガ、キッズヨガなどアレンジする事ができます。
※山の中でのプログラムになりますので、夏季は暑さや虫よけ対策、冬季は防寒対策を行って下さい。

参加者負担費用

その他（特記事項）をご確認ください。

持ち物　・準備品

山登りが出来る服装、軍手、リュックサック、虫よけ、タオル、ビニール袋３枚、マイカッツプ、マイ箸、ウエットティッシュ、ご飯又はパン、飲み物

その他（特記事項）

大　人　　４，８００円（ランチ付き）
中学生以下　　１，５００円（ランチ付き）
（ガイド・保険料含む）　※オプションはお尋ねください。

実施団体

大月ロハス村（ろはすの森実行委員会）
〒401-0011　大月市駒橋３－３－１３
Tel：0554-23-1169
E-mail：info@lohasnomori.com

体験・学習

森林ボランティア

市外版

ねらい

倒木などで荒れた放置林に実際に足を踏み入れ現状を知ることで、保全活動に興味をもってもらう。

概　要

森林ボランティアの体験
・道、森の清掃、植樹（移植）
・道に倒れた倒木の除去
・植樹した森の枝を集める等、道具がなくても出来る作業

※参加者には木材、時期によりタケノコ、原木しいたけ、山菜等お土産があります。

場　所	ろはすの森（大月市）	時　期（季節）	通年
対　象	小学生以上	人　数	３０名迄

プログラム No.25

タイムスケジュール

所要時間　４時間３０分

９時３０分～１０時００分　集合(オリエンテーション)
１０時００分～１０時１５分　出発（ろはすの森へ）
１０時１５分～１２時００分　ボランティア活動（適宜休憩や移動を挟みます）
１２時００分～１３時００分　ロハス村サンサーラ広場にて昼食休憩
１３時００分～１４時００分　ボランティア活動を行いながら下山

※5 名以上でお申込みください。
※半日でも実施可能です。その場合は午前か午後を選択してください。

参加者負担費用

保険代として１人７００円
※参加証明書発行の場合はプラス300 円

持ち物　・準備品

- 軍手
- 作業、山登りが出来る服装
- （汚れてもよいスニーカー等の）靴
- はさみ、鉈、のこぎりなどある方はご持参ください
- レジ袋
- お弁当、飲み物

その他（特記事項）

夏季は虫よけ・虫刺され用の薬、冬季は防寒具の用意をお願いします。

実施団体

大月ロハス村（ろはすの森実行委員会）
〒401-0011　大月市駒橋３－３－１３
Tel：0554-23-1169
E-mail：info@lohasnomori.com

協働実施者の紹介

【市内の協働実施者の皆様】

団体名	〒	住所	電話番号	主な活動など
認定 NPO 法人 未来の荒川をつくる会	400- 0027	甲府市富士見 2-2-33 イーハトヴ	055- 254-3018	・河川清掃を体験し、水や河川の大切さを、また、魚の掴み取りを楽しみながら河川の大切さを学ぶ
甲府市地球温暖化対策 地域協議会	400- 0831	甲府市上町 601-4	（事務局） 055- 241-4363	・市民、事業者、団体及び市の協働により地域の実情に即した地球温暖化対策の推進を目的に活動しています。
ＮＰＯ法人 みどりの学校	400- 0058	甲府市宮原町 90-2	090- 9373-2345	・省エネ・再エネ利用クッキング ・再生可能エネルギー利用の体験学習 ・省エネ型のライフスタイルの提案
国立大学法人　山梨大学 水素・燃料電池 ナノ材料研究センター 研究推進・社会連携機構 水素・燃料電池技術支援室	400- 0021	甲府市宮前町 6-43	055- 254-7098	燃料電池の本格的普及のために、高性能、高信頼性、低コストを同時に実現可能な燃料電池の基礎的技術を確立するため、ナノテクノロジーを駆使した研究を実施しています。
NPO 法人 EM 共生ネットワーク 山梨峡中支部 (ユートピアこうふ緑の会)	400- 0861	甲府市城東 5-7-16	055- 233-6991	・ＥＭによる地球環境問題の改善策 ・ビオトープやプールの浄化 ・川の浄化活動 ・無農薬野菜づくり、石鹸づくり
山梨県立大学 「おはなしクラブ」	400- 0035	甲府市飯田 5-11-1 山梨県立大学内	―	・保育士を目指す学生からなるサークルであり、実習以外で園などを訪問し、手遊びやペープサートなどの活動をしています。
劇団「さくらっ子」	400- 0021	甲府市宮前町 1-3-508	090- 3042-0018	・パソコン環境紙芝居や環境問題の寸劇 ・地域、家庭などの男女共同参画の寸劇 ・その他、防災を題材にした寸劇
(株)セブン - イレブン・ジャパン　山梨地区事務所	400- 0856	甲府市伊勢 4-32-2	055- 233-2644	・コンビニエンスストア事業を通じて、地域の方々に、安全で安心して買い物ができる店舗を目指します。

【市外の協働実施者の皆様】

団体名	〒	住所	電話番号	主な活動など
サントリーパブリシティサービス株式会社	135-0061	東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア 16 階	050-1734-9842	・サントリーグループの広報 ・ＣＳＲ活動の運営
サントリープロダクツ株式会社 サントリー天然水南アルプス白州工場	408-0316	北杜市白州町鳥原 2913-1	0551-35-4733	・ミネラルウォーター製品の製造 ・地域との連携を目的とした渉外活動など
ＨＯＯＫ（フック） かんきょう『協育』事務所	408-0041	北杜市小淵沢町上笹尾	090-2214-5938	・プロジェクトワイルド、プロジェクトＷＥＴ、イルカのＫちゃん講演 ・ネイチャーゲーム、自然観察会（水辺）
大月ロハス村 (ろはすの森実行委員会)	401-0011	大月市駒橋 3-3-13	0554-23-1169	・ツリークライミング ・間伐材を使ったモノづくり ・自然エネルギー学校 ・地域に住むムササビなどの小動物観察 ・大月ロハス村で行っている環境保全についての取り組み ・ロハスキャンプ
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社　ＣＳセンター	―	―	―	地球環境と省エネ・自然エネルギーについての【環境】学習・啓発活動
味の素ＡＧＦ株式会社 東京支社	151-8551	東京都渋谷区初台 1-46-3 シモモトビル	03-5365-8410	・コーヒーをはじめとする嗜好飲料・ギフトの販売

本プログラムの実施にあたり、ご協力いただいております協働実施者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

協働実施者を募集しています

甲府市環境教育プログラムでは、市民の皆様により多くのプログラムを提供するため、随時、協働実施者を募集しています。

実施していただける方々は、甲府市ホームページから『**甲府市環境教育プログラムメニュー様式【登録用】**』をダウンロードしていただくか、甲府市ごみ減量課にお問い合わせいただき、お申し込みください。

【甲府市ホームページ】
ホーム ＞ まち・環境 ＞ 環境 ＞ 環境施策 ＞
環境教育推進への協働団体等を募集します

【URL】
https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kankyohozen/kankyopuroguramu.html

【問い合わせ・申し込み先】
甲府市　環境部　環境総室　ごみ減量課
〒400-0831　甲府市上町 601-4
Tel：　055-241-4327　　Fax：055-241-6190

甲府市環境教育プログラム参加申請書

年　　月　　日

甲 府 市 長　様

（申請者）

住　　所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

団 体 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代表者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ｅｍａｉｌ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

次のとおり、甲府市環境教育プログラムへの参加を申請します。

実施プログラム	プログラム№＿＿＿＿（＿＿＿＿ページ） プログラム名 〔　　〕	
実 施 日 時	第１希望日	年　　月　　日（　　） 午前・午後　　時　　分～（実施時間　　分間）
	第２希望日	年　　月　　日（　　） 午前・午後　　時　　分～（実施時間　　分間）
実 施 場 所	会　場　名	
	会 場 住 所	
	会場連絡先 （電話番号）	
参　加　者	人　　数	人（大人　　人・小人　　人）
	参加者詳細 ※学年、年齢等	
備　　考 （要望・伝達事項等）		

※申請書受理後、プログラムの実施団体から連絡が入りますのでお待ちください。

令和７年度版

甲府市環境教育プログラム

編集・発行/環境部 環境総室 ごみ減量課

〒400－0831　山梨県甲府市上町 601－4

TEL　055－241－4327

甲府市ホームページ

https://www.city.kofu.yamanashi.jp